

第1回 下水道における新たな PPP/PFI 事業の促進に向けた検討会

議 事 概 要

- 日 時 : 平成 27 年 10 月 8 日(木) 15:00~17:00
- 場 所 : (公益社団法人) 日本下水道協会 第1・2会議室
- 出席団体 : いわき市、宇部市、大阪市、大阪狭山市、河内長野市、高知市、小松市、佐野市、塩尻市、多摩市、富山市、浜松市、三浦市、山元町(以上、五十音順)、国土交通省、(公益社団法人) 日本下水道協会
- 資 料 : 資料1 参加者名簿
資料2 検討会設置趣旨
資料3 PPP/PFI に関する政府全体の動向について
資料4 下水道における PPP/PFI の取組状況と効果について
資料5 検討の進め方(案)

議事

1. 開会
2. 挨拶
3. 出席者紹介
4. 検討会設置趣旨
5. 検討会の運営
6. 議題
 - (1) PPP/PFI に関する政府全体の動向について
 - (2) 下水道における PPP/PFI の取組状況と効果について
 - (3) 検討の進め方について
 - (4) モデル都市における PPP/PFI の取組状況等の紹介
7. 閉会

【主な意見】

- PPP/PFI を導入した後においても、公共側の技術継承は重要である。
- 現在、包括的民間委託を実施しているが、将来、広域化を進めたい。協議会制度の活用が考えられるため、広域化についても検討内容に加えてほしい。
- 未普及解消と改築更新を両立していくための方策を検討したい。
- 管路の包括的民間委託の導入を目指している。既に導入されている地方公共団体の取組事例を教えてほしい。
- PFI では、期間が長期であるため、競争原理が働きにくくなることや地元企業が活用されないのではないかと懸念している。
- コンセッションなど長期契約の導入における、事業者選定時の公平性・透明性の確保や関係者の合意形成のノウハウを得たい。